

令和2年度  
事業報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

## 令和2年度事業報告書

### 1 県臓器移植コーディネーター業務

臓器移植及びアイバンク事業について、円滑な実施並びに関係機関との連携強化を図るため、県より臓器移植コーディネーター設置業務を受託し、事務局に県臓器移植コーディネーターを2名設置し、以下の事業を実施した。

#### (1) 臓器提供発生時対応

臓器提供対応件数：1件

脳死下臓器提供対応1件（727例目）令和2年10月

ドナー家族の希望により「福島県内の病院」「18歳以上の男性」と公表。

心臓（国立循環器病研究センター）

肺（京都大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院）

肝臓（国立成育医療研究センター、神戸大学医学部附属病院）

膵臓（広島大学病院）

腎臓（東京都立小児総合医療センター、岡山医療センター）

角膜（福島県立医科大学附属病院）

角膜提供件数：3件（脳死下臓器提供含む）

隣県支援依頼：2件

※宮城県：心停止後臓器提供のための検体搬送 1件

山形県：心停止後臓器提供支援（COVID-19のためあっせん中止） 1件

(2) 脳死下臓器提供可能な5類型施設、院内コーディネーターの設置された施設への訪問  
院内体制整備及び臓器提供の促進や普及啓発のため、関係職員と院内コーディネーターに脳死下提供、心停止下提供について説明を行った。

- ・白河厚生総合病院
- ・ときわ会常磐病院
- ・いわき市医療センター
- ・南相馬市立総合病院
- ・星総合病院

(3) コーディネーターの資質向上や情報交換を目的とした学会や研修会等への参加  
公益社団法人日本臓器移植ネットワーク主催会議、研修等（WEB）

- ・新規都道府県臓器移植コーディネーター研修会（令和2年10月2、5～8日）
- ・全国都道府県コーディネーター連絡会議（令和2年12月18日）
- ・2020年度C級コーディネーター研修会（令和2年11月18～20日）
- ・臓器移植コーディネーター個別研修（令和2年8月5日、19日、11月11日）  
（令和2年12月1日15日、令和3年1月6日、20日、2月24日）

福島移植フォーラム（令和3年2月20日）

「肺移植の革新」岡山大学大藤先生、「肝移植の最前線」京都大学上本先生  
公益財団法人日本アイバンク協会主催 WEB 会議

- ・北海道・東北地区連絡会、全国連絡協議会（令和2年10月8日）

・全国連絡協議会（令和2年11月28日）

西日本組織移植コーディネーター研修会（令和2年12月21日、22日）

2020年度第1回日本組織移植学会認定コーディネーターセミナー

（令和3年1月30、31日）

(4) 選択肢提示のための冊子の作成

福島県立医科大学附属病院医師の協力により、ドナー候補者の家族への冊子を作製して提供施設となりうる医療機関へ配布。

2 臓器移植及びアイバンク事業の普及啓発活動の推進

(1) ポスター、リーフレット等による普及啓発

- ・ 医療機関の協力を得て、臓器移植関連ポスター、アイバンクポスターの掲示を依頼した。
- ・ 若い世代への意思表示促進を目的として、成人の日のイベントで配布する臓器移植リーフレットの市町村への発送に協力した。
- ・ 県民、医療機関等の問合せに対応し、各種リーフレット等を送付した。
- ・ 福島市の協力により、福島市内の地下道掲示板にポスターを常設掲示した。

(2) イベント等での普及啓発活動

- ・ 骨髄バンクドナー登録会に参加してアイバンク登録と臓器提供意思表示の呼びかけ、アンケートによる臓器提供意思表示の意識調査を行った。

（県庁玄関ホール 9月5日、1月18日）

(3) 第36回愛護デー講演会（令和2年10月10日 会津若松市）

COVID-19のため中止

(4) 臓器移植に関する県民公開講座～伝え合おう！家族と、大切な人と～

（令和2年9月12日、福島市子どもの夢を育む施設こむこむ わいわいホール）

COVID-19のため中止

(5) グリーンライトアップ

臓器移植推進月間グリーンリボンデーに合わせてライトアップした。

〈場所〉 臓器移植推進月間グリーンリボンデーに合わせてライトアップした。

鶴ヶ城 10月13日から10月16日

東北電力無線鉄塔（会津若松市、福島市、いわき市）

東北電力発電所煙突（南相馬市）10月11日から10月16日

ネクスコ東日本安達太良サービスエリア内

〈普及啓発活動〉 10月14日に福島駅前古関裕而像付近で、意思表示普及啓発バナー等を設置しリーフレット配布した。

(6) 移植を受けた方々の作品展（Gift of Life 展）

COVID-19のため中止

(7) 出前講座

COVID-19のため中止

〈学校訪問活動〉

- ・ 福島市内の医療系学校4校を訪問して教官への説明を行い、学生等に臓器提供意思

表示アンケートを行った。

#### (8) ホームページ改修

ホームページを刷新し、財団の活動とお知らせ、臓器移植と意思表示、アイバンクと腎臓移植の助成、賛助会員と寄附の募集の呼びかけを行っている。

### 3 アイバンク事業

#### (1) 眼球提供申込者

眼球提供登録申込書の受付と眼球提供登録カードの交付

- ・眼球提供登録申込者 9名（内死後登録者2名）

#### (2) 眼球摘出、あっせんの実施

- ・眼球提供者 3名（6眼）（前年度 8名、15眼）
- ・角膜あっせん 9眼（前年度 あっせん 13眼）
- ・強膜あっせん 0眼（前年度 あっせん 0眼）
- ・角膜あっせん要請 4眼（前年度 あっせん要請 2眼）

### 4 腎移植希望者に対する助成（上限 15,000 円）

- ・11名 福島県登録者数161名（2020年12月31日現在）  
2020年8月に登録者1名が移植を受けた。（715 例目 和歌山県）

### 5 院内コーディネーター研修会の開催

第33回院内コーディネーター研修会（令和2年8月29日、福島テルサ）

「移植医が考える肝移植と臓器提供の課題」

福島県立医科大学 肝胆膵・移植外科学講座教授 見城 明 先生

「移植医療の現状」 JOT 田坂 華奈子 コーディネーター

「臓器提供の流れ」 JOT 井上 千晴 コーディネーター

（参加者40名）

### 6 感謝状贈呈事業

- ・眼球提供者 3名

### 7 地域推進会議

県民に移植医療に関する意識と理解を高め、臓器提供意思表示をしてもらえるよう、財団、行政、医療機関、関連する団体との連携を図った。

- ・福島県立医科大学附属病院のシミュレーションに参加した。（11月24日）
- ・福島県立医科大学附属病院 院内勉強会に WEB で参加した。（12月9日）
- ・福島空港事務所を訪問し、事例発生時、ヘリ搬送不可時の陸路搬送対応について打ち合わせを行った。（2月3日）
- ・福島県警本部 捜査第一課検視官及び地域企画課を訪問し、臓器提供発生事案の状況説明をし、発生した場合の対応について具体的な打ち合わせを行った。（3月8日）

### 8 寄附金等募集活動

- ・福島県眼科医会様

- ・ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区様
- ・ときわ会常磐病院様（寄附型自販機設置による寄附）
- ・賛助会員数 0

## 9 役員会等の開催

### (1) 理事会

第14回理事会（令和2年6月5日）書面決議

令和元年度事業報告及び収支決算を承認した。

賛助会員について承認した。

第7回定時評議員会の開催について承認した。

第15回理事会（令和2年7月8日）書面決議

理事長、副理事長の選定を行った。

第16回理事会（令和2年11月18日）書面決議

公益財団法人福島県臓器移植推進財団寄附金等取扱規程を定めた。

公益財団法人福島県臓器移植推進財団個人情報保護規程を定めた。

第8回評議員会の開催について承認した。

第17回理事会（令和3年3月29日）

令和3年度 収支予算書を承認した。

令和3年度 事業計画を承認した。

### (2) 監事会

第7回監事会（令和2年5月21日）

令和元年度の事業報告と収支決算について会計監査が行われた。

### (3) 評議員会

第7回評議員会（令和2年6月24日開催）書面決議

令和元年度事業報告をした。

令和元年度収支決算を承認した。

役員の選任について承認した。

評議員の選任について承認した。

第8回評議員会（令和2年12月16日開催）書面決議

役員の選任について承認した。

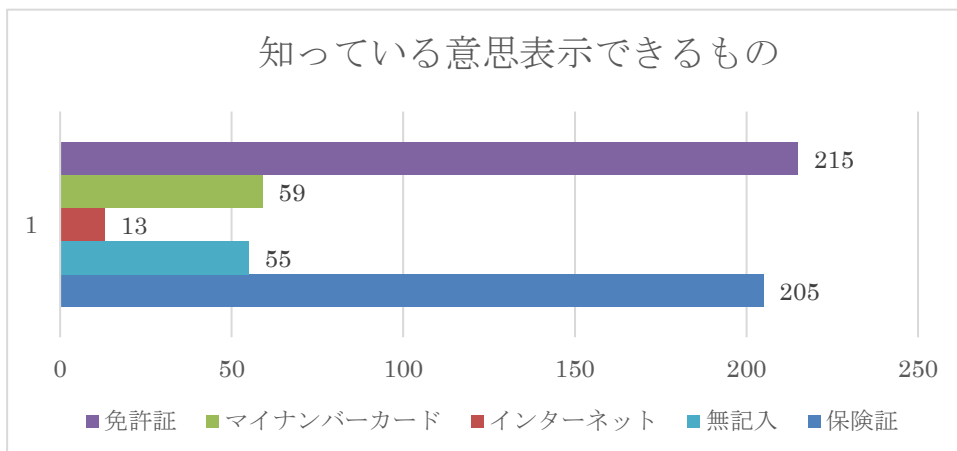
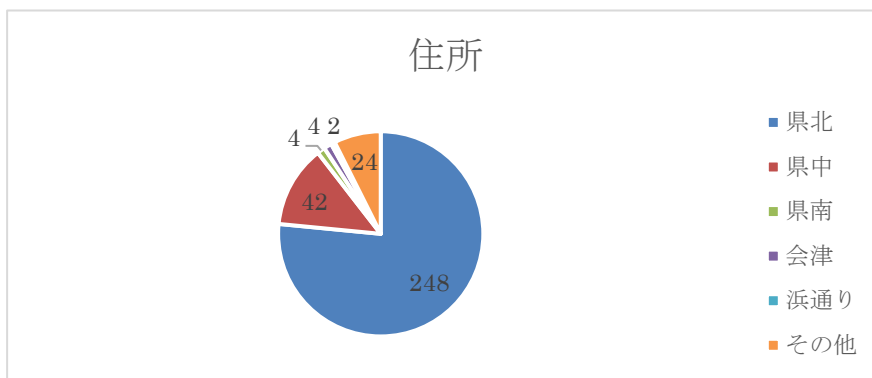
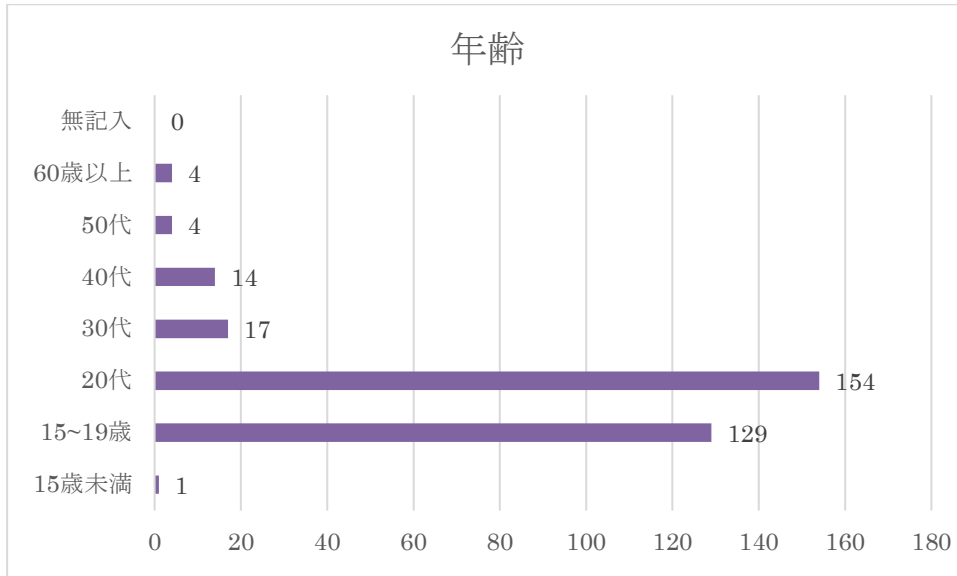
報告事項

公益財団法人福島県臓器移植推進財団寄附金等取扱規程

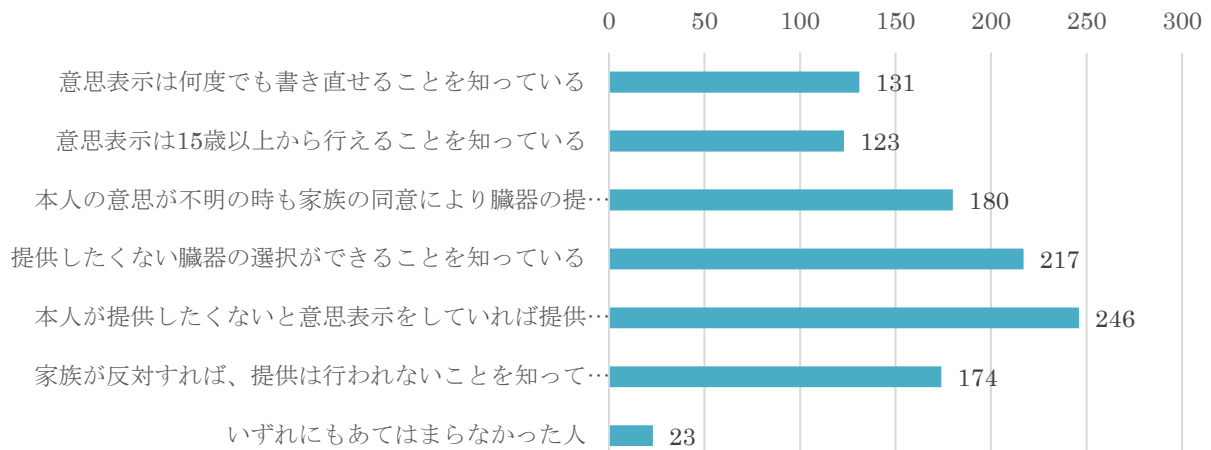
公益財団法人福島県臓器移植推進財団個人情報保護規程

## 〈財団実施アンケート結果〉

福島明星厚生学院 福島看護専門学校 143名  
 福島県立総合衛生学院 110名  
 福島東稜高等学校 看護科、専攻科 71名  
 学生、教官、その他関係者を含む



## 提供意思について



意思表示は何度でも書き直せることを知っている

意思表示は15歳以上から行えることを知っている

本人の意思が不明の時も家族の同意により臓器の提供ができることを知っている

提供したくない臓器の選択ができることを知っている

本人が提供したくないと意思表示をしていれば提供されないことを知っている

家族が反対すれば、提供は行われないことを知っている

いずれにもあてはまらなかった人

## 意思表示について

